

令和4年度  
歳入歳出決算審査意見書

富山県後期高齢者医療広域連合監査委員

富高連監第4号  
令和5年6月27日

富山県後期高齢者医療広域連合  
広域連合長 角田 悠紀 様

富山県後期高齢者医療広域連合

監査委員

石坂 博信



監査委員

今藤 久文



令和4年度富山県後期高齢者医療広域連合一般会計及び後期高齢者  
医療事業特別会計歳入歳出決算審査意見書の提出について

地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された富山県後期高齢者医療広  
域連合一般会計及び後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算を審査した結果につ  
いて、次のとおり意見書を提出します。

# 令和4年度富山県後期高齢者医療広域連合一般会計及び 後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出等決算審査意見書

1 審査の期日 令和5年6月27日

2 審査の方法

決算審査は、広域連合長から提出された決算書に基づき、広域連合議会で議決された科目によって適正に作成されているか否かを確かめ歳入歳出簿と計数照合するとともに、証拠書類、歳入歳出決算事項別明細書等の確認について関係職員の説明を求め行った。

3 審査の結果および意見

審査に付された富山県後期高齢者医療広域連合一般会計及び後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算書並びに付属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成され、かつ決算計数は関係書類及び諸帳簿と符合して正確であり、予算執行並びに事務処理についても全体として適正かつ効率的に処理していると認められた。

本県の被保険者数は、令和5年3月末現在約19万2千人となっており、制度発足時の14万5千人と比較すると4万7千人の増、約32.4%の伸び率となっている。現在、いわゆる団塊の世代が後期高齢者に移行している中で、令和5年度中に、被保険者数は20万人を超え、医療費は2,000億円に迫ると見込まれている。

また、国においては「全世代対応型の持続可能な社会保障制度の構築」を進めており、今年度に入り、こども・子育て支援の拡充や高齢者を全世代で公平に支えあうための高齢者医療制度の見直し、医療保険制度の基盤強化等を盛り込んだ、健康保険法等の改正が行われた。

そのような状況の中、富山県後期高齢者医療広域連合では、被保険者が安心して医療サービスを楽しむことができるよう、国、県及び市町村との連携、協力を深め、積極的な歳入の確保と限りある財源の有効活用により、歳入歳出両面での改善に努めるほか、個人情報保護の徹底や、事務の効率化を図りつつ、以下に留意して事業の推進に努めるよう望むものである。

昨年10月1日からの制度改正で、一定以上の所得者の窓口負担割合に2割区分が新設され、業務量の増加や複雑化への対応が求められたが、市町村や関係機関の協力を得て円滑な移行及び運用ができており、引き続き、連携強化を図りながら安定した制度運営に努められたい。

高齢者保健事業においては、令和4年度から県内全ての市町村が取り組んでいる「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」を中心に、高齢者の特性を踏まえた事業を市町村や関係機関と連携を図りながら推進し、健康寿命の延伸を図るための取り組みを継続されたい。

医療費適正化事業においては、引き続きレセプト点検の徹底に努めるとともに、被保険者に対する重複多剤服薬対策として、個別指導を実施するなど、医療費の適正化を図られたい。

なお、決算の概要等は次のとおりである。

## 第1 決算の概要

### (1) 決算規模

令和4年度の一般会計の予算現額は、158,224千円であり、これに対する決算額は、

歳入	158,227,083円	(予算額に対する割合)	100.0%
歳出	155,822,283円	(予算額に対する割合)	98.5%
差引額	2,404,800円		

となっている。

また、令和4年度の後期高齢者医療事業特別会計の予算現額は、176,771,712千円であり、これに対する決算額は、

歳入	167,997,120,352円	(予算額に対する割合)	95.0%
歳出	167,997,120,352円	(予算額に対する割合)	95.0%
差引額	0円		

となっている。

### (2) 決算収支状況

本年度の一般会計歳入総額から歳出総額を差引いた形式収支及び実質収支は、2,404,800円となっている。

また、本年度の後期高齢者医療事業特別会計歳入総額から歳出総額を差引いた形式収支及び実質収支は、0円となっている。

#### <一般会計決算収支状況>

(単位：千円)

年度	歳入決算額 (A)	歳出決算額 (B)	差引額 形式収支 (C)	翌年度に 繰り越す べき財源 (D)	実質収支 (E) (C) - (D)	前年度 実質収支 (F)	単年度収支 (G) (E) - (F)
R3	155,613	149,086	6,527	0	6,527	9,351	△ 2,824
R4	158,227	155,822	2,405	0	2,405	6,527	△ 4,122

#### <後期高齢者医療事業特別会計決算収支状況>

(単位：千円)

年度	歳入決算額 (A)	歳出決算額 (B)	差引額 形式収支 (C)	翌年度に 繰り越す べき財源 (D)	実質収支 (E) (C) - (D)	前年度 実質収支 (F)	単年度収支 (G) (E) - (F)
R3	167,384,610	167,384,610	0	0	0	4,541,036	△ 4,541,036
R4	167,997,120	167,997,120	0	0	0	0	0

## 第2 一般会計

### (1) 歳入

#### 第1款 分担金及び負担金

(単位：千円、%)

年度	予算額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算額に対す る増減	収入割合	
							対予算	対調定
R3	146,257	146,257	146,257	0	0	0	100.0	100.0
R4	151,694	151,694	151,694	0	0	0	100.0	100.0

収入済額の内訳は、次のとおりである。

市町村事務費負担金

151,694,000 円

#### 第2款 諸収入

(単位：千円、%)

年度	予算額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算額に対す る増減	収入割合	
							対予算	対調定
R3	2	5	5	0	0	3	250.0	100.0
R4	2	6	6	0	0	4	300.0	100.0

収入済額の内訳は、次のとおりである。

預金利子

36 円

雑入（雇用保険料等（会計年度任用職員負担分））

6,408 円

#### 第3款 繰越金

(単位：千円、%)

年度	予算額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算額に対す る増減	収入割合	
							対予算	対調定
R3	9,352	9,351	9,351	0	0	△ 1	100.0	100.0
R4	6,528	6,527	6,527	0	0	△ 1	100.0	100.0

収入済額の内訳は、次のとおりである。

前年度繰越金

6,526,639 円

## (2) 歳出

## 第1款 議会費

(単位：千円、%)

年度	予算額	支出済額	翌年度繰越額			不用額	執行率
			継続費通次繰越	繰越明許費	事故繰越		
R3	737	570	0	0	0	167	77.3
R4	735	563	0	0	0	172	76.6

議会費の内訳は、次のとおりである。

議員報酬	515,777 円
費用弁償	45,000 円
事務費	2,500 円

## 第2款 総務費

(単位：千円、%)

年度	予算額	支出済額	翌年度繰越額			不用額	執行率
			継続費通次繰越	繰越明許費	事故繰越		
R3	154,030	148,516	0	0	0	5,514	96.4
R4	156,614	155,259	0	0	0	1,355	99.1

総務費の主な内訳は、次のとおりである。

派遣職員人件費負担金	133,959,790 円
一般管理費等	21,299,216 円

## 第3款 公債費

(単位：千円、%)

年度	予算額	支出済額	翌年度繰越額			不用額	執行率
			継続費通次繰越	繰越明許費	事故繰越		
R3	1	0	0	0	0	1	0.0
R4	1	0	0	0	0	1	0.0

公債費の支出は、なかった。

## 第4款 予備費

(単位：千円、%)

年度	予算額	支出済額	翌年度繰越額			不用額	執行率
			継続費通次繰越	繰越明許費	事故繰越		
R3	843	0	0	0	0	843	0.0
R4	874	0	0	0	0	874	0.0

予備費の充用は、なかった。

### 第3 後期高齢者医療事業特別会計

#### (1) 歳入

##### 第1款 市町村支出金

(単位：千円、%)

年度	予算額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算額に対す る増減	収入割合	
							対予算	対調定
R3	28,862,568	28,936,273	28,936,273	0	0	73,705	100.3	100.0
R4	30,151,726	30,510,893	30,510,893	0	0	359,167	101.2	100.0

収入済額の内訳は、次のとおりである。

##### [市町村負担金]

市町村事務費負担金	492,334,000 円
保険料負担金	13,167,523,260 円
保険基盤安定制度負担金	3,109,801,500 円
療養給付費負担金	13,616,356,172 円

##### [市町村補助金]

健康診査費補助金	124,878,363 円
----------	---------------

##### 第2款 国庫支出金

(単位：千円、%)

年度	予算額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算額に対す る増減	収入割合	
							対予算	対調定
R3	53,577,484	54,959,880	54,959,880	0	0	1,382,396	102.6	100.0
R4	56,572,752	56,774,853	56,774,853	0	0	202,101	100.4	100.0

収入済額の内訳は、次のとおりである。

##### [国庫負担金]

療養給付費負担金	40,921,174,796 円
高額医療費負担金	934,797,193 円

##### [国庫補助金]

普通調整交付金	14,433,328,000 円
特別調整交付金	342,566,400 円
特別高額医療費共同事業費補助金	8,231,955 円
後期高齢者医療災害臨時特例補助金	140,000 円
健康診査費補助金	134,614,600 円

第3款 県支出金

(単位：千円、%)

年度	予算額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算額に対す る増減	収入割合	
							対予算	対調定
R3	13,742,532	13,677,152	13,677,152	0	0	△ 65,380	99.5	100.0
R4	14,599,952	14,268,676	14,268,676	0	0	△ 331,276	97.7	100.0

収入済額の内訳は、次のとおりである。

[県負担金]

療養給付費負担金 13,209,001,805 円

高額医療費負担金 934,797,193 円

[県補助金]

健康診査費補助金 124,877,000 円

第4款 支払基金交付金

(単位：千円、%)

年度	予算額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算額に対す る増減	収入割合	
							対予算	対調定
R3	65,055,459	63,751,741	63,751,741	0	0	△ 1,303,718	98.0	100.0
R4	67,968,470	65,148,486	65,148,486	0	0	△ 2,819,984	95.9	100.0

収入済額の内訳は、次のとおりである。

後期高齢者交付金 65,148,486,000 円

第5款 特別高額医療費共同事業交付金

(単位：千円、%)

年度	予算額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算額に対す る増減	収入割合	
							対予算	対調定
R3	30,863	51,194	51,194	0	0	20,331	165.9	100.0
R4	48,964	71,284	71,284	0	0	22,320	145.6	100.0

収入済額の内訳は、次のとおりである。

特別高額医療費共同事業交付金 71,283,745 円

第6款 財産収入

(単位：千円、%)

年度	予算額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算額に対す る増減	収入割合	
							対予算	対調定
R3	401	96	96	0	0	△ 305	23.9	100.0
R4	1,001	448	448	0	0	△ 553	44.8	100.0

収入済額の内訳は、次のとおりである。

後期高齢者医療事業財政調整基金運用分 448,483 円



第7款 繰入金

(単位：千円、%)

年度	予算額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算額に対す る増減	収入割合	
							対予算	対調定
R3	6,349,668	180,739	180,739	0	0	△ 6,168,929	2.8	100.0
R4	7,230,966	1,059,221	1,059,221	0	0	△ 6,171,745	14.6	100.0

収入済額の内訳は、次のとおりである。

後期高齢者医療事業財政調整基金繰入金 1,059,220,815 円

第8款 県財政安定化基金借入金

(単位：千円、%)

年度	予算額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算額に対す る増減	収入割合	
							対予算	対調定
R3	1	0	0	0	0	△ 1	0.0	-
R4	1	0	0	0	0	△ 1	0.0	-

県財政安定化基金借入金の収入は、なかった。

第9款 諸収入

(単位：千円、%)

年度	予算額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算額に対す る増減	収入割合	
							対予算	対調定
R3	1,357,053	1,288,636	1,286,498	706	1,432	△ 70,555	94.8	99.8
R4	197,879	164,899	163,259	0	1,640	△ 34,620	82.5	99.0

収入済額の内訳は、次のとおりである。

延滞金 1,774,700 円  
 預金利子 43,944 円  
 第三者納付金 149,680,589 円  
 返納金・雑入 11,759,839 円

第10款 繰越金

(単位：千円、%)

年度	予算額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算額に対す る増減	収入割合	
							対予算	対調定
R3	4,541,036	4,541,037	4,541,037	0	0	1	100.0	100.0
R4	1	0	0	0	0	△ 1	0.0	-

繰越金の収入は、なかった。

## (2) 歳出

## 第1款 総務費

(単位：千円、%)

年度	予算額	支出済額	翌年度繰越額			不用額	執行率
			継続費通次繰越	繰越明許費	事故繰越		
R3	645,376	559,995	0	0	0	85,381	86.8
R4	658,753	569,828	0	0	0	88,925	86.5

総務費の内訳は、次のとおりである。

一般管理事業費	67,850,279 円
被保険者証等交付事業費	113,319,678 円
広域連合システム等管理運営事業費	245,256,322 円
所得把握事業費	264,622 円
減額賦課事業費	450,300 円
医療費適正化事業費	142,686,817 円

## 第2款 保険給付費

(単位：千円、%)

年度	予算額	支出済額	翌年度繰越額			不用額	執行率
			継続費通次繰越	繰越明許費	事故繰越		
R3	161,441,572	155,773,779	0	0	0	5,667,793	96.5
R4	170,526,379	162,251,927	0	0	0	8,274,452	95.1

保険給付費の内訳は、次のとおりである。

療養給付費	152,321,440,521 円
訪問看護療養費	1,284,837,730 円
移送費	11,200 円
審査支払手数料	353,764,050 円
高額療養費	7,753,833,002 円
外来年間合算療養費	53,791,617 円
高額介護合算療養費	130,864,660 円
葬祭費	352,950,000 円
傷病手当金	434,568 円

## 第3款 特別高額医療費共同事業拠出金

(単位：千円、%)

年度	予算額	支出済額	翌年度繰越額			不用額	執行率
			継続費通次繰越	繰越明許費	事故繰越		
R3	46,406	41,497	0	0	0	4,909	89.4
R4	74,805	69,481	0	0	0	5,324	92.9

特別高額医療費共同事業拠出金の内訳は、次のとおりである。

特別高額医療費共同事業拠出金	69,395,916 円
特別高額医療費共同事業事務費拠出金	85,373 円

第4款 保健事業費

(単位：千円、%)

年度	予算額	支出済額	翌年度繰越額			不用額	執行率
			継続費通次繰越	繰越明許費	事故繰越		
R3	984,856	734,232	0	0	0	250,624	74.6
R4	1,132,847	852,313	0	0	0	280,534	75.2

保健事業費の内訳は、次のとおりである。

健康診査費	667,592,597 円
健康保持増進費（高齢者保健事業費）	184,719,766 円

第5款 基金積立金

(単位：千円、%)

年度	予算額	支出済額	翌年度繰越額			不用額	執行率
			継続費通次繰越	繰越明許費	事故繰越		
R3	3,369,928	3,369,624	0	0	0	304	100.0
R4	1,001	448	0	0	0	553	44.8

基金積立金の内訳は、次のとおりである。

後期高齢者医療事業財政調整基金積立金	448,483 円
--------------------	-----------

第6款 公債費

(単位：千円、%)

年度	予算額	支出済額	翌年度繰越額			不用額	執行率
			継続費通次繰越	繰越明許費	事故繰越		
R3	18,500	0	0	0	0	18,500	0.0
R4	18,500	286	0	0	0	18,214	1.5

公債費の内訳は、次のとおりである。

一時借入金利子	285,615 円
---------	-----------

第7款 諸支出金

(単位：千円、%)

年度	予算額	支出済額	翌年度繰越額			不用額	執行率
			継続費通次繰越	繰越明許費	事故繰越		
R3	6,910,427	6,905,483	0	0	0	4,944	99.9
R4	4,259,427	4,252,837	0	0	0	6,590	99.8

諸支出金の内訳は、次のとおりである。

保険料還付金	16,598,400 円
償還金	4,236,225,636 円
還付加算金	13,200 円

第8款 予備費

(単位：千円、%)

年度	予算額	支出済額	翌年度繰越額			不用額	執行率
			継続費遞次繰越	繰越明許費	事故繰越		
R3	100,000	0	0	0	0	100,000	0.0
R4	100,000	0	0	0	0	100,000	0.0

予備費の充用は、なかった。

第4 基金

後期高齢者医療事業財政調整基金

基金残高（令和4年3月31日時点）	11,225,476,681 円
取崩	△ 180,739,386 円
積立（繰替運用利子）	285,615 円
積立（運用利子）	162,868 円
基金残高（令和5年3月31日現在）	11,045,185,778 円
(参考)	
積立（令和5年4～5月の繰替運用利子）	558,904 円
積立（令和5年4～5月の運用利子）	8,509 円
取崩	△ 1,059,220,815 円
基金残高（令和5年5月31日現在）	9,986,532,376 円

第5 財産（車両及び物品）

- ① 保有車両はない。（リースで2台使用。）
- ② 備品の本年度末現在高は、昨年度末現在高より2品増加の34品である。